

<報道関係各位>

2014年8月1日

一般社団法人 日本化学工業協会

## 日本化学工業協会 新LRI 第2期 研究報告会、 8月29日(金)に開催

～内分泌かく乱物質やプラスチックによる海洋汚染など、化学物質の安全性や環境に関する最新動向を議論～

一般社団法人 日本化学工業協会(以下、日化協)は8月29日(金)、「日化協 新LRI 第2期 研究報告会」をベルサール神田(東京都千代田区神田美土代町)にて開催いたします。

日化協が取り組む化学物質の人の健康や環境に及ぼす影響に関する研究支援活動:LRI(Long-range Research Initiative:長期自主研究)は一昨年、化学物質管理を巡る近年の国際動向の変化を踏まえ、化学産業が抱える喫緊の課題や社会のニーズに沿ったテーマに取り組む「新LRI」としてスタートを切り、毎年この時期に定例の研究報告会を開催しています。

現在採択中の新LRI研究20課題(別添<参考資料>ご参照)の進捗状況と成果について紹介する「ポスターセッション」に加え、「午前の部」は化学品管理およびグローバルなトピックスのご紹介、「午後の部」は社会の関心が高い特定のテーマについて研究動向を紹介するとともに、業界の取り組みについて広く議論することとしています。(詳細は、次頁の<日化協 新LRI 第2期 研究報告会プログラム>をご参照ください)

### ■化学品管理の歴史や、海洋漂流ごみ問題の現状を紹介

「午前の部」では、基調講演として、淑徳大学 人文学部の北野大教授に「化学品管理の歴史」について解説していただきます。続いて、九州大学 応用力学研究所の磯辺篤彦教授より、今後国際的に大きな問題になる可能性がある「海洋漂流ごみ問題の現状と今後」について最新の情報をお話しいたきます。

### ■“内分泌かく乱物質”をテーマにシンポジウム／パネルディスカッション

「午後の部」では、世界中で議論が進んでいる“内分泌かく乱物質”をテーマにしたシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、LRIの学術諮問委員でもある井口泰泉教授(岡崎統合バイオサイエンスセンター)に「内分泌かく乱物質問題の最近の動向」について、同じく学術諮問委員の青山博昭部長(残留農薬研究所)に「実験動物の遺伝学的・栄養学的基盤整備」についてご紹介いただきます。

また、LRI採択研究者からは馬場健史准教授(大阪大学 大学院工学研究科)に内分泌かく乱作用の評価法のご自身の成果としてのメタボリックプロファイリングについて解説いただきます。外部研究者としては渡辺肇教授(大阪大学 大学院工学研究科)に「ミジンコを用いた内分泌かく乱物質バイオモニタリング系の確立」についてお話しいたきます。講演後、講師4名と日化協の代表者によるパネルディスカッションを予定しており、ここでは内分泌かく乱物質問題の取り扱いについて研究者および業界関係者を交えた幅広い議論を行います。

なお、本研究報告会への参加は無料です。

日化協セミナー総合サイト <http://www.jcia-seminars.org/>にてお申し込みいただけます(定員:300名)。申込締切は8月27日(水)です。

<<本件に関するお問い合わせ先>>

一般から: 一般社団法人日本化学工業協会 LRI事務局 水越、黛 TEL:03-3297-2575

報道関係者から: 一般社団法人日本化学工業協会 広報部 鎌田、松本 TEL:03-3297-2555

<日化協 新LRI 第2期 研究報告会プログラム>

日時：2014年8月29日(金) 9:30-17:00(開場9:00)

会場：ベルサール神田 2階

(東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル2F)

プログラム:

敬称略

午前の部	
9:00	開場
9:30 - 9:40	開会挨拶 西出 徹雄 (一般社団法人 日本化学工業協会 専務理事)
9:40 - 10:40	基調講演 「化学品管理の歴史」 北野 大 (淑徳大学人文学部 教授)
10:40 - 11:40	特別講演 「海洋漂流ゴミ問題の現状と今後 ～マクロ&マイクロプラスチックの環境負荷～」 磯辺 篤彦 (九州大学応用力学研究所 教授)
11:40 - 12:30	休憩
12:30 - 14:00	ポスターセッション ※展示は 16:00 まで 詳細は<参考資料>をご参照ください
午後の部 シンポジウム: テーマ「内分泌かく乱物質の現状と課題」	
14:00 - 14:05	「シンポジウムの狙い」 一鬼 勉 (一般社団法人 日本化学工業協会 化学品管理部部長)
14:05 - 14:35	「内分泌かく乱物質問題の最近の動向」 井口 泰泉 (岡崎統合バイオサイエンスセンター 教授)
14:35 - 15:05	「実験動物の遺伝学的・栄養学的基盤整備」 青山 博昭 (一般財団法人 残留農薬研究所 毒性部長)
15:05 - 15:35	「メタボリックプロファイリングによる化学物質の内分泌かく乱作用 in vitro 評価系の開発」 馬場 健史 (大阪大学大学院 工学研究科 准教授)
15:35 - 16:05	「ミジンコを用いた内分泌かく乱物質バイオモニタリング系の確立」 渡辺 肇 (大阪大学大学院 工学研究科 教授)
16:10 - 16:55	パネルディスカッション 井口 泰泉 (岡崎統合バイオサイエンスセンター 教授) 青山 博昭 (一般財団法人 残留農薬研究所 毒性部長) 馬場 健史 (大阪大学大学院 工学研究科 准教授) 渡辺 肇 (大阪大学大学院 工学研究科 教授) 庄野 文章 (一般社団法人 日本化学工業協会 専務理事)
16:55 - 17:00	閉会挨拶 中山 光二 LRI 運営委員長 (株式会社 三菱ケミカルホールディングス)

<参考資料>

■新LRI 第2期 指定課題および採択公募課題(ポスターセッション発表テーマ)

敬称略

ポスター番号	研究課題	氏名	所属
12_S01-01	事業者の自主管理に資する確率論を援用したヒト曝露評価モデルの開発	東海 明宏	大阪大学 大学院工学研究科
12_S01-02	ヒト肝キメラマウスを利用した化学物質の精緻なPBPKモデルの構築	山崎 浩史	昭和薬科大学 薬物動態学研究室
12_S01-03	化学物質の呼吸器感受性試験法の確立	青山 公治	鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科
13_S01-01	iPS細胞を利用する化学物質のがん幹細胞誘導性評価技術の開発	妹尾 昌治	岡山大学 大学院自然科学研究科
12_S02-01	ナノ材料の安全性予測に資する物性・品質/体内動態/安全性の連関評価	吉岡 靖雄	大阪大学 大学院薬学研究科毒性学分野
13_S02-01	工業ナノ粒子の溶解性と生体・生態影響評価に関する研究	岩橋 均	岐阜大学 応用生物科学部
13_S03-01	ショウジョウバエを活用したシックハウス症候群の発症機構の解明と原因物質評価系の開発	亀井 加恵子	京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科
12_S04-01	化学物質の環境中挙動(水中光分解、加水分解)に関する in silico 予測モデルの開発	高木 達也	大阪大学 大学院薬学研究科
12_PT01-02	事業者の自主的リスク評価管理を支援する環境リスク評価ツールの開発	林 彬勲	独立行政法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門
12_PT01-04	がん化初期段階における「代謝再プログラム化」過程を可視化できるマウスの開発と発がん性試験への応用	田沼 延公	地方独立行政法人 宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター 研究所
12_PT01-05	メタボリックプロファイリングによる化学物質の内分泌かく乱作用 in vitro 評価系の開発	馬場 健史	大阪大学 大学院工学研究科 生命先端工学専攻
12_PT01-06	Active QSAR モデリングによるハザード予測の精緻化	高橋 由雅	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科情報・知能工学系
13_PT01-01	ゼブラフィッシュの神経分化を指標とする化学物質の発達神経毒性評価手法の開発	西村 有平	三重大学 大学院医学系研究科薬理ゲノミクス
13_PT01-02	産業利用促進を目指した新規 in vitro 発生毒性試験の応用研究	山影 康次	一般財団法人 食品薬品安全センター秦野研究所
13_PT01-03	化学物質による複雑な肝毒性を予測および評価するためのインビトロ・インシリコ統合型システムの開発	吉成 浩一	静岡県立大学 薬学部
12_PT03-01	セリンプロテアーゼインヒビター欠損細胞を用いた化学物質過敏症の高感度 in vitro 評価系の開発 副題:呼吸器アレルギー検出のための細胞を用いた in vitro 系の検討	中村 晃	金沢医科大学 医学部免疫学講座
13_PT03-01	加齢による代謝酵素・トランスポーターの機能変動を考慮した数理モデルを用いた化学物質の体内挙動の定量的予測	楠原 洋之	東京大学 大学院薬学系研究科
12_PT04-01	PRTR 登録化学物質の包括的リスク評価手法の提案	中田 典秀	京都大学 大学院工学研究科附属 流域圏総合環境質研究センター
12_PT04-02	マイクロゾムを活用した化学物質の生態系リスク影響評価システム手法の開発	稲森 悠平	国際科学振興財団
13_PT05-01	メコン川流域における複合的な環境汚染に対する新規網羅的モニタリングシステムの開発とその実効性の検証	平田 収正	大阪大学 大学院薬学研究科